

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業名		ファミリーサポートセンター運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		子育て支援センターふるいち		連絡先	072-958-3308		
総合基本計画 事業の概要	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1 一般会計	
	施策	1	子育て支援		款	3 民生費	
	施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実		項	2 児童福祉費	
					目	8 子育て支援費	
対象 (誰を・何を)		依頼会員・協力会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どものいる方					
目的 (どうしたいか)		子育ての援助をして欲しい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(協力会員)の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることを目的としている。					
手段 (事業内容)		センターは、依頼会員と協力会員との連絡調整等を行う。援助を受けた依頼会員は協力会員に報酬等を支払い、協力会員は援助活動報告書をセンターに提出する。					

予算・決算額		(単位:千円)			«主な内訳(令和3年度決算)»	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 講師謝礼:50千円 行政協力者(講座開催時の保育):93千円 消耗品費・電話料:125千円 補償保険:192千円 ファミリーサポートセンター特別会員会費:55千円	
当初予算額	事業費	578	580	580		
決算額	事業費	383	515	—		
	特定財源等	1,964	2,575	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	登録会員数	単位	人	
指標の説明	依頼会員、協力会員、両方会員に登録している人数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標(見込)	200	200	200	
実績	167	122	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	援助活動件数	単位	件	
指標の説明	依頼会員の子どもを協力会員が保育した件数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標(見込)	480	480	480	
実績	339	389	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価		現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題)		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)	
子育て中の親子や共働きの家庭が、安心して子育てや仕事ができるように、相互援助活動を行う環境は今後も必要である。		広報活動や手段を検討し、子育ての様々なニーズに対応できるよう、協力会員の確保や利用活動促進に努める。	